

令和6年4月9日 入学式 式辞

春の気配も整い、草木の緑が美しく映える季節となりました。本日ここに、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、令和六年度 島根県立江津高等学校 入学式を挙行できますことは、この上ない喜びであります。在校生、教職員一同、新入生の皆さんを心から歓迎いたします。

ただ今、入学を許可いたしました五十名の新入生の皆さん、あらためて本校への入学おめでとうございます。今、皆さんの心の中は、これから始まる高校生活にわくわくする気持ちと新たな環境での生活に対する不安とが入り交じっているのではないのでしょうか。「初心忘るべからず」という言葉があります。今の新鮮な気持ちを忘れずに、これからの高校生活を送って欲しいと思います。

さて、みなさんの正面ステージ横に、江津高校校歌の歌詞が掲げられています。江津高校の校歌を作詞された木島俊太郎氏は、県内の学校の校歌を多数作詞しておられます。みなさんが通っていた小学校や中学校の校歌にも木島氏の作詞によるものがあると思います。その木島氏が、江津高校の校歌の歌詞に込めた思いを綴った文章を残しています。自筆の原稿が校長室にあります。その中から少し紹介したいと思います。

「江津高校は、果てない希望を抱き、無限の可能性を持つ生徒たちが、学問に打ち込み、元気澆刺、意気盛んに集う学校である」、「江津高校は、江の川の流れるように、生徒たちが倦まずたゆまず、熱意を込めて真理の探究に一生懸命励む学校である」、「高校生時代は試練の時期である。江津高校の生徒たちは、石見の海辺の松のように不撓不屈の意志をもって、あらゆる試練に屈することなく、社会に飛び立っていく」

江津高校では、学校の中だけでなく地域との連携の中での様々な学びを通して、「自らの成長のために挑戦できる生徒」を育てていきます。校歌を作詞した木島氏の言葉にもあるように、みなさんは無限の可能性を秘めています。あらゆる試練に屈することなく、様々な挑戦を通して自己肯定感や自己有用感を身につけ、地域に出て行くことで社会参画意識を養い、未来を変えていく力を身につけて欲しいと願っています。江津高校では、自らの成長のために必要な力として、次の4つを掲げています。

- ① Challenge（挑戦）…失敗を恐れず、積極的に行動する力
- ② Collaboration（協働）…多様性を大切にし、相手を受け入れ協働する力
- ③ Critical Thinking（批判的思考）…広い視野で物事を客観的にとらえ、自ら判断する力
- ④ Communication（対話）…相手に伝わるように表現する力・聴く力

これら4つの力を英単語の頭文字をとって「4つのC」と呼びます。みなさんも、ぜひこの「4つのC」を覚えてください。そして、この「4つのC」を常に意識してください。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。あらためてお祝い申し上げますとともに、お子様の成長と大きな志の実現のために、教職員が一丸となって尽力することをここにお約束いたします。お子様の健全な成長のためには、学校とご家庭の連携協力も必要です。あらためて保護者の皆様には、本校の教育活動に対し、ご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。

令和六年四月九日

島根県立江津高等学校長 田村康雄